

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	公共下水道整備事業		
事業担当	土木部 下水道整備課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	住みごこち 人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等	下水道法		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
河川の水質保全や公衆衛生の向上及び浸水防止が図られています。		河川の水質保全や公衆衛生の向上及び浸水防止のため、市街化区域や市街化調整区域の公共下水道を整備します。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
活動指標	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標	指標名	整備面積進捗率(雨水)				単位	%
	説明・算定式	整備が完了した面積 ÷ 全体整備面積3,544ha(認可面積) × 100					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	76.8	77.3	77.8	77.3		
	実績	76.8	77.2	77.3			
成果指標	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	: 予定どおり						
	遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果							
平塚市総合浸水対策基本計画の重点対策地区に位置づけられている岡崎地区、新町地区の雨水管渠を整備しました。							
平成26年度の検証結果	A : 成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	浸水区域の解消と公共用水域の水質保全のために必要な事業です。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	継続的に整備を進めていくことで水質保全と浸水解消が達成されます。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	汚水は、受益者から負担金等を徴収しています。雨水は、公費負担となっています。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	経済性や事業効果等を検討し、工法や整備箇所を決定しています。	高中低
今後に向けた課題の分析 雨水管渠を整備していますが、放流先の河川が暫定整備のため内水が排除しにくく、堤内地に浸水被害が発生しています。浸水被害を軽減するために、下水道管理者と河川管理者が一体となり、事業を進める必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		管渠築造工事	管渠築造工事	管渠築造工事	管渠築造工事
財源内訳	国庫支出金	74,044	110,180	102,300	191,500
	県支出金	0	0	0	0
	起債	334,400	363,200	324,200	464,900
	その他 特財	35,648	28,071	89,509	343,100
	一般財源	14,042	17,216	18,374	11,000
事業費 (A)		458,134	518,667	534,383	1,010,500
執行率 (%)		82.72	81.77	67.11	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針 浸水被害の軽減を図るため、総合浸水対策基本計画に基づく対策工事や実施設計を行い、浸水被害の軽減を図っていきます。
課長コメント 重点対策地区の被害を最小化する雨水整備を進めるとともに、雨水整備の進んでいない地区の整備も着実に進めます。